

講師紹介



いのせ こうへい
猪瀬 浩平 (明治学院大学教養教育センター教授・明治学院大学ボランティアセンター センター長)

埼玉県浦和市(現さいたま市)生まれ。大学在学中の1999年から見沼田んぼ福祉農園の活動に巻き込まれ、そのうちに見沼田んぼ福祉農園事務局長になる。2007年から明治学院大学教養教育センター専任教員としてボランティア学を担当。NPO法人のらんど代表理事、見沼・風の学校事務局長などをつとめる。主な著書に、『むらと原発——窪川原発計画をもみ消した四万十の人びと』(農山漁村文化協会、2015年)、『分解者たち——見沼田んぼのほとりに生きる』(生活書院、2019年)など。

登壇者紹介

つとみ ひろし
津富 宏

(静岡県立大学国際関係学部教授・キャリア支援センター センター長)

東京大学教養学部、ウィスコンシン州立大学マディソン校社会学部修士課程卒業。法務教官として子供達の矯正教育に19年間携わる。青少年就労支援ネットワーク静岡を設立し、就労支援の仕組みである「静岡方式」を確立。多くの学生団体と関わり「若者が地域と繋がる社会づくり」に取り組む。

よしだ えみこ
吉田 恵美子

(まちづくりを考える会 Hygge 代表)

焼津市在住。スープ屋Hygge(ヒュゲ)店主。アートクラブwaC代表。不登校児支援グループココミラ+代表。元特別支援学校等教員。年代や性別、職業、障害、国籍を超えてゆるく繋がるまちづくりをめざす。焼津市知的障害者相談員、藤枝市こども発達センター相談員としても活動中。

よしだ しげる
吉田 茂

(NPO 法人しずおかオーガニックウェブ(SOW) 代表理事)

1958年静岡県生まれ。静岡県庁で農業職員として普及指導、研究、政策立案の業務に従事。2018年定年退職後、オランダWageningen大学有機農業修士課程入学。2020年修了。2021年NPO法人しずおかオーガニックウェブ(SOW)を仲間と設立し、オーガニックの輪を広げる活動をしている。

はました たけし
濱下 武志

(静岡県立大学グローバル地域センター長)

静岡市出身。東京大学東洋文化研究所所長・教授、中山大學(中国)アジア太平洋学院院長などを歴任。中国社会経済史、東アジア経済史、東アジア華僑華人史などの歴史学を専攻。著書に、『近代中国の国際的契機—朝貢貿易システムと近代アジア』(アジア太平洋賞・大賞)ほか。

なぐら きょうこ
奈倉 京子

(静岡県立大学国際関係学部 教授)

静岡県沼津市出身。博士(人類学)。現代中国における国家と個人の間の中間的領域の萌芽に問題関心をもち、社会で周縁化された人々のネットワークやコミュニティ形成の研究を行う。近刊に『中国の知的障害者とその家族—「新しい社会性」のエスノグラフィー』(東方書店、2023年)ほか。

申込先

FAX:054-245-5603

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1もくせい会館2階
 静岡県立大学グローバル地域センター



第3回公開セミナー

アジアの福祉現場における「中間的領域／組織」の探究(2/17)

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、2月14日(火)17:00までに、FAXまたは郵送にて「静岡県立大学グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからもお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

●会場参加(もくせい会館) 申込締切:2月14日(火)17:00

フリガナ	
氏名	会社・団体名
住所 〒	(ご勤務先 ・ ご自宅) ○をお付けください
TEL	FAX
Eメール	今後、当センターからの講演会の案内を (希望する ・ 希望しない)

*FAX・郵送にてお申込みの方には、順次、参加確認の通知をしますので、ご確認ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。